

令和 5 年度 第 3 回 (公社)大気環境学会常任理事会 議事録

日時: 令和 6 年 3 月 19 日 (火) 17:00~19:00

場所: Zoom によるオンライン会議

出席者: 伊豆田 猛 会長、島 正之 副会長、中井里史 副会長、  
上野広行、大河内 博、奥田知明、茶谷 聡、松田和秀、米持真一 各常任理事

審議事項

1. 前回議事録の確認 (資料 1)

資料に基づいて確認し、承認された。

2. INVOICE 等を考慮した学会体制について (資料 2)

- ・中井副会長より資料に基づいて説明された。

インボイス制度は「適格請求書保存方式」のことをいい、所定の記載要件を満たした請求書などが「適格請求書(インボイス)」である。2023 年 10 月以降、インボイスの発行または保存により、消費税の仕入額控除を受けることが可能となった。

- ・現時点で大気環境学会は免税事業者(消費税納税不要、インボイス発行不可)であるが、機器展など企業等との関係もあることから、課税対象事業者(インボイス発行可であるが消費税納税義務がある事業者)への移行が提案され、提案通りに進めることを確認した。

- ・今後、理事会に提案し、メール審議とすることが承認された。

参考：国際文献社が関与する他学会（免税事業者）で課税対象事業者になったのは 98 団体中で 1 団体である。この理由としては、消費税を払う必要が生じる、事務手続きが面倒、インボイス発行の必要性がほとんどないなどである。

3. 2024 年度役員選挙について (資料 3)

- ・伊豆田会長より米持常任理事を委員長として行うことが提案され、承認された。
- ・米持常任理事よりスケジュールは例年通りに行うことが説明された。
- ・投票方式としてはインターネットを介した投票システムを利用する。

4. 謝金規程について (資料 4)

- ・中井副会長より資料に基づいて説明された。
- ・学会員に対して謝金、交通費を支払っているという実態があることから、規程を確認してもらうよう支部長・分科会長等に連絡する。
- ・伊豆田会長より、謝金規程を見直す方向で中井副会長を中心に検討することが提案され、了承された。

## 5. 編集委員会（資料5）

### (1) 年会講演要旨集の公開について

- ・茶谷常任理事より資料に基づいて説明され、当面は要旨集を個別ではなく全体をまとめてJ-Stageに掲載することが提案され、了承された。
- ・JDream IIIにより全体アップロードでも個々の検索可能である。
- ・余った要旨は学会事務局で保管しており、年会終了後も購入可能である。
- ・公開時期は資料として学会報告が学会誌に掲載される時期に合わせることを提案され、了承された(翌年1号)。

### (2) 入門講座のオープンアクセス化について

- ・茶谷常任理事より資料に基づいて説明された。現状、J-stageにより会員限定で無料配付しており、非会員は有料配付している。
- ・シリーズが完結した段階でダウンロード販売しているが、著者から講義で使いたいのでオープンアクセス化してほしいとの要望がある。
- ・オープンアクセスの費用負担は著者(希望する場合)とすることが提案された。
- ・講義利用ではオープンアクセス化しなくても無償・無承諾使用の可能性があるが、確認が必要である(参考資料：学校における教育活動と著作権)。
- ・非会員の購入費は微々たるものであり、オープンアクセス化した方が広く読まれるのでオープンアクセス化を進めるべきであるという意見が出された。
- ・編集委員会で継続審議とする。

## 6. その他

- ・伊豆田会長より、記録編纂委員会の委員が速水委員長から提案があったことが報告され、承認された。

副委員長：茶谷常任理事

委員：高見会員， 上野常任理事， 松田常任理事， 大河内常任理事

- ・今後、委員会の委員が増えるのであれば、理事で良いのではないかとの提案がなされた。

## 報告事項

### 1. 第65回年会の開催準備状況（資料6）

奥田常任理事より資料に基づいて報告され、昨年度からの変更点などが説明された。

- ・懇親会を4年ぶりに開催する。
- ・学生・若手研究者優秀発表賞は申込時に「エントリー」を導入する。
- ・技術セミナーを有料化する。
- ・運営委員会と業者の相互協力を強化する。
- ・今後の大気環境学会について考える企画を開催する。

2. 第 67 回年会の埼玉県内での年会開催の可能性について

- ・米持常任理事より、資料に基づき埼玉開催について関係者で行った議論が説明され、挙がった課題について常任理事会の見解を確認した。
- ・伊豆田会長より、引き続き本件を検討していただき、米持常任理事より常任理事会に報告することを依頼した。

3. 各委員会報告（資料 7）

- ・地方環境研究所等委員会: 上野常任理事より学会ホームページ上に動画をアップロードしたことが報告された。
- ・編集委員会: 茶谷常任理事より資料に基づいて論文賞選考の方針を早めに検討すること、学会部門を分けないことが報告された。

4. 入退会者の報告

- ・正会員が 1 名増加して、正会員 695 名となった

5. その他

- ・年会実行委員会の実務を国際文献社に依頼することは難しいことが確認された。